

越前地域

	名称	主体	種別	面積	要約
14	白山平泉寺旧境内	国	史跡	200ha	越前馬場平泉寺(白山信仰の越前側の拠点)。中世には四十八社・三十六堂・六千坊が境内に建ち並び、寺領は九万石・九万貫に達したという。天正2年(1574)には一向一揆の焼き討ちにあい全山焼失。平成元年度からの発掘調査では、国内最大ともいえる中世宗教都市の遺構が確認されている。
15	旧玄成院庭園	国	名勝	0.1ha	天正2年(1574)の焼き討ち後、平泉寺を再興した玄成院の庭園である。枯山水様式の庭園であり、室町幕府管領の細川高国が作庭したと伝えられる。
16	越前禅定道	(未指定)	(史跡)	全長30kmの内 14km	平泉寺から白山山頂を目指す越前側の参詣道。三禅定道の中では最短距離で白山山頂に達し、全国でも最も険しい修験の道の一つ。かつて道沿いには十二の宿(宗教施設)があったとされ、最近の調査では良好な状態で遺構や行場が確認される。

美濃地域

	名称	主体	種別	面積	要約
17	石徹白の大杉	国	特別天然記念物		美濃禅定道沿いにある本州最大のスギ巨木で、幹周径約14.5mを測る。白山を開いた泰澄が植えたともいわれ、古くから「十二抱のスギ」と呼ばれる。なお、指定木脇に今清水社の礎石があり、参詣路の面影を残す。推定樹齢約1,800年。
18	若宮家住宅	岐阜県	重要文化財		白山長滝神社の社家と推察され、長良川上流の民家遺構として貴重である。天明5年(1785)の棟札と、文化8年(1811)の棟札及び居宇普請方諸事覚帳が残される。
19	阿弥陀ヶ滝	岐阜県	名勝		落差60mを測り、水量も豊富である。養老6年(722)に白山を開山した泰澄が発見し、長滝と呼んで長滝寺を建立したとの伝承をもつ。この長滝寺の僧が修行を行っていたところ、忽然と阿弥陀三尊が現れたことから、阿弥陀ヶ滝と名付けたとも伝える。
20	白山神社のスギ	岐阜県	天然記念物		美濃馬場の白山長滝神社境内にあるスギの大木である。根元の幹周8m、目通り幹周6.1m、樹高40mを測り、樹勢は旺盛である。
21	石徹白の浄安スギ	岐阜県	天然記念物		美濃禅定道の間地点に当たる白山中居神社の境内にあるスギの大木である。根元幹周13.6m、目通り幹周12.1m、高さ約35mを測り、樹齢1200年とも言われる。かつて、僧が根元に白山参詣の宿坊として貯えた大金を埋めたと伝えられる。
22	白山中居神社のブナ原生林	岐阜県	天然記念物	2.7ha	白山中居神社の背後にあり、社地保安の役割を果たす。幹周4.7mのブナを最大に、約115本を数える原生林として貴重である。
23	白山中居神社の森	岐阜県	天然記念物	2.2ha	参道・社殿を取り囲むスギの大木群である。推定樹齢200～1000年以上の140余本の老木からなり、岐阜県下で希なスギの森である。
24	大踏山のミズバショウ群生地	岐阜県	天然記念物	5a	標高1000mの大踏山(社地)に群生する。4月下旬にミズバショウ及びザゼンソウ、ショウジョウバカマなどの花が咲き、岐阜県のミズバショウの西限となる。
25	白山長滝神社、長滝寺境内の景観	(未指定)	(文化的景観)		境内に古代の牛王石、鎌倉時代の石灯籠(国重要文化財)や、厳肅な雰囲気をもつ本殿・拝殿があり、神仏習合の名残を留める長滝寺も並存し、良好な景観を残している。例年1月6日、国指定文化財の長滝の延年が舞われる。
26	白山中居神社境内の景観	(未指定)	(文化的景観)		参道両側に樹齢800年の老スギの並木が鬱蒼と茂り、注連縄が掛けられた泰澄ゆかりの影向石がある等、白山信仰に係り良好な景観を色濃く残す。また、境内を横断する宮川の清流は神域を一層荘厳なものとしている。
27	石徹白の伝統的建造物群	(未指定)	(伝統的建造物群)		白山参詣の案内や宿を営み、冬期は白山中居神社の御師として薬草等を持って白山信仰を全国に広めた白山社人の村である。赤い屋根等、独特な景観を色濃く残す。住居の間取りには仏間と別に「ハクサンの間」をもつことに大きな特徴がある。